



みんなの居場所 こども食堂 みんなん家^ち

こども食堂 みんなん家（世話人：御船奈央さん、会員9名）は令和2年3月に設立。概ね月に1回、総合文化ホールを主な会場として土曜日に開催しています。食事だけでなく、木のおもちゃ広場、機織り、ピザ作り、楽団コンサート等いろいろな体験を参加者に提供しています。さまざまな世代の会員がみんなん家の運営にあたって

います。

「みんなで食べる楽しさや人とつながる喜びを感じてもらえる場所になれたらうれしいです」と世話人の御船さんは言います。6ページの「話を聴かせて」に会員代表が登場。みんなん家設立時の苦労やこれからについて熱く語ります。

三朝町社会福祉協議会広報誌

福祉みささ

第208号

2024年8月1日

本会では町民の皆さまや福祉関係者等、多くの方のご理解ご協力をいただき、以下の事業を実施しました。事業報告及び決算についての詳細資料は、三朝町社会福祉協議会のホームページから閲覧・ダウンロードすることができます。「三朝町社協」で検索、または www.misasa-syakyu.or.jp を入力してください。

ボランティア活動の振興

- ボランティア相談受付 一般2件、除雪4件
- 学生服リユース事業
制服提供1件、利用申込0件
- ボランティア連絡協議会 役員会1回開催
- 災害救援ボランティア活動の体制強化 活動2件
- ボランティア団体活動助成 17団体
- 介護支援ボランティア事業
ボランティア登録者数18人

施設管理事業

指定管理者として町立福祉センターの施設管理を実施
有料入浴者数6,074人、無料入浴者数4,885人

募金活動への協力(三朝町共同募金委員会)

赤い羽根共同募金実績 1,131,249円
歳末たすけあい募金実績 1,006,622円

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
ケアマネジメント 88件/月
介護予防プラン作成 18件/月
要介護認定調査受託 5件/月
満足度調査実施
- 通所介護事業
サービス提供 437回/月
季節行事・外出行事の実施
ゆけむりだよりの発行6回
個別支援の強化(趣味活動や機能訓練の取組み)
満足度調査実施
- 訪問介護事業
サービス提供 162回/月
介護予防相当サービスの実施 57回/月
満足度調査実施



民生児童委員と日中一時支援利用者の調理実習

町受託事業

- 外出支援サービス 8回/月
- 配食サービス 858食/月
- 産後ヘルパー事業 利用者数0人

障がい福祉事業

- 障がい者地域生活支援事業 141回/月
・健康づくりの推進、季節行事及び外出行事の実施
・たんぽぽ(便り)の発行 年6回
- 障がい者居宅介護事業 42回/月
- 重度障がい児者医療型ショートステイヘルパー付添事業(県補助事業)
利用者数0人



デイサービス運動会

令和5年度決算

収入	決算額	備考	支出	決算額	備考
会費	3,250,895	一般会費、賛助会費、特別会費	法人運営事業	7,706,749	運営事務費、会議費等
寄付金	1,665,000	香典返し寄付、一般寄付	地域福祉事業	12,661,895	ボランティアセンター事業等
補助金	29,367,000	町、県社協	共同募金事業	1,875,778	広報事業、福祉団体助成等
受託金	30,326,318	町、県、県社協	介護サービス費	72,262,555	介護保険事業、障がい福祉事業
共同募金配分金	1,866,269	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい	町受託事業	19,939,802	配食サービス事業等
介護サービス	82,820,739	介護保険事業、障がい福祉事業	県、県社協受託事業	9,029,630	生活困窮者自立支援事業等
事業収入	1,856,322	入浴料等の利用料	施設管理事業	18,770,665	福祉センター管理運営費
その他	35,048,900	繰越金、預金利息等	繰越金	43,954,369	
収入合計	186,201,443		支出合計	186,201,443	

令和5年度 三朝町社会福祉協議会 事業報告

法人運営事業

- 会議
理事会6回 評議員会4回 監事会1回
評議員選任・解任委員会1回
- 役員研修の実施
(内部研修開催0回、外部研修参加3回)
- 職員研修の実施
(内部研修開催7回、外部研修参加22回)

広報啓発活動の推進

- 広報誌「福祉みささ」
4回発行(203号、204号、205号、206号)
- 第31回三朝町福祉大会
11月23日開催、42人参加
福祉功労者表彰3名、1団体。
- ホームページ、SNSの活用と充実

地域福祉活動の推進

- 集落福祉活動の推進
 - ・吉田区(吉田区福祉推進会議 サービス担当者会議併催)
 - ・上西谷区、加谷区、木地山区(学習会への職員派遣)
- 災害時要支援者対策促進事業(支え愛マップ作り) 山田一区、牧区
- 愛の輪運動 一人暮らし高齢者等の見守り、対象者23人、訪問員23人
- 救急医療情報キットの配布 総配布数503名
- ボランティア配食サービス
年54回、548食を配達、調理ボランティア延227人、配達ボランティア延166人
- 福祉関係者合同研修会 3月17日開催 参加者53人
- 福祉関係団体支援(事務局担当、活動助成) 動員54回 延75人
- 祭壇・レクリエーション用具の貸出
祭壇3件、車椅子12件、レクリエーション用具等7件
- 生活支援体制整備事業(町受託)
生活支援コーディネーター1名配置
- いきいきサロン事業(町受託)
いきいき元気サロン開催48回、延469人参加
- ショッピングデイサービス(町受託)
吉田区 延104人、坂本区 延133人、小河地区 延96人
- 地区別高齢者交流会の開催 77回、延利用者948人



支え愛マップづくり

相談支援の推進

- 総合相談所
相談受付7件、相談員研修2回実施
- 福祉資金貸付 1件
- 生活福祉資金貸付(県社協受託) 0件
- 日常生活自立支援事業(県社協受託) 利用5件
- 生活困窮者自立支援事業(県受託)
相談受付7件、相談支援回数延118回
- 成年後見制度法人受任 受任1件
- ひきこもり支援 支援1件

福祉教育の推進

- 地域で取り組む福祉教育・ボランティア活動推進事業 連絡会1回
- 夏休みボランティアスクール
延60人参加
- 車椅子体験
小学校4年生 41人
- トライワークみささ受入れ
三朝中学校2年生2人
- 福祉教育助成 小・中学校、保育園

いきいき元気サロンだより



羽合歴史民俗資料館を見学。国重要文化財 長瀬高浜遺跡出土の埴輪などが展示されています。遺跡発見から50周年ということで秋には大きなイベントも予定されているそうです。

6月にお出かけを実施。浜村ヤサホーパークでお弁当。海と山、汽車も眺めることができる公園でした。



今後の日程

	小鹿地区	三徳地区	三朝地区	高勢地区	賀茂地区	竹田地区
8月	6日(火)	1日(木)		27日(火)	22日(木)	29日(木)
9月	3日(火)	5日(木)		17日(火)	19日(木)	26日(木)
10月	1日(火)	3日(木)		22日(火)	17日(木)	24日(木)
11月	13日(水) 賀茂地区と合同	11日(月)		7日(木) 竹田地区と合同	13日(水) 小鹿地区と合同	7日(木) 高勢地区と合同

社協の人財

インタビュアー



居宅介護支援係
武信 学志

・所属と勤務年数を教えてください。
 居宅介護支援係に所属しています。入社して5年目になります。

・具体的な仕事内容を教えてください。
 介護支援専門員として、介護が必要になった方やそのご家族が住み慣れた家や地域で安心してその人らしい暮らしができるように支援することが私の役割です。ご利用者の健康状態や生活環境、望む生活などを詳しく聞き取り、ご利用者のニーズに応じた最適な介護サービス(訪問介護、デイサービスなどの介護保険サービスやボランティア、地域支援事業など)を組み合わせた計画を作成します。そして、介護サービスを提供する事業所との連絡調整を行い、サービスが適切に提供されるようにします。また、ご利用

者からの相談に応じ、介護に関するアドバイスや情報提供を行ったり、医療機関と連携を図ったり、行政機関などへの書類作成や申請などを代行しています。

・仕事におけるやりがいは何ですか。
 ご利用者のお宅を訪問した際に、笑顔で生活されている姿を見ることが大きなやりがいです。また、介護サービス提供事業所や地域包括支援センター、医療機関、地域支援事業の担当者など一つのチームとなり、困難なケースでも各専門職の知識と経験を結集して解決策を見出す過程も非常にやりがいがあります。

・目指す理想像を教えてください。
 ご利用者一人ひとりが安心して暮らせる環境を作るために、医療、介護、福祉等の関係機関との連携を強化し、地域住民とのコミュニケーションを大切にして、地域全体で支え合う体制の一員として頑張っていきたいと思っています。経験豊富な先輩や専門家からの指導を受けながら、継続的に学び、変化するニーズに柔軟に対応できる介護支援専門員でありたいと思っています。

あなたの
「やりたい!」
応援します

あなたの
「できる!」を
待っています

ボランティアさん募集中!

あなたも“自分のできるボランティア”を探してみませんか?

わたしたちの住む地域には、暮らしていく上での困りごとや手助けのほしいことがいくつもあります。それは、誰かにちょっとだけお手伝いをしてもらえれば解決につながります。「ボランティアに興味がある」「何か自分にできることを探してみたい」「普段は関わりの無い仕事にも興味がある」……と、思っている方へ。

まずは無理なく自分にできることから始めてみませんか?ほんの少しの関わりから、何かが変わっていくかもしれません。

例えば、高齢者の世帯で

- ・話し相手、散歩の付添い
- ・ゴミ出し・電球の取り替え・雪かき



急募!!

〈ふれあい配食サービス〉

●調理&配達ボランティア

週に1回、高齢者等世帯にお弁当を届け、安否確認をする活動のボランティアさん(特に配達)が足りません。あなたの情熱で、てごして~~~~

《寄付紹介》

〜ありがとうございました〜
ございました

◆香典返し寄付者

片柴	山下しのぶ様 (故忠仁様)	金一封
坂本	山本 睦美様 (故ゆり子様)	金一封
三徳	鳥羽 明昌様 (故孝子様)	金一封
木地山	小椋 繁巳様 (故絹子様)	金一封
横手	横山 孝美様 (故いつ子様)	金一封
坂本	山本 睦美様 (故武様)	金一封
鎌田	山本 康彦様 (故満智子様)	金一封
片柴	徳永 信之様 (故克彦様)	金一封
助谷	宮本 一治様 (故ノブ子様)	金一封
横手	中野 壽幸様 (故嘉與子様)	金一封
森	中原真一郎様 (故真寿子様)	金一封
吉尾	米原 健二様 (故敦子様)	金一封
山田	大丸 満壽様 (故美恵子様)	金一封

※寄付者及び寄付金額の記載は、寄付者ご本人の了解をいただいています。なお、金一封の記載は金額の多少に関わらず、寄付者のご本人の意思によるものです。

話を聴かせて



みんな家^ち会員代表

—みんな家^ちを始めたきっかけ

もともと町外のごとも食堂に利用者として参加していました。みんなでご飯を食べるのが楽しくて、隣同士になった人と会話が弾んで、自然とつながりができました。作り手の皆さんの楽しそうな姿も印象的でした。

食育とまではいきませんが、食べ物を通じて子どもたちに貢献したいという想いもありました。三朝町の子どもが少なくなっていく中、子どもも親もつながれて、みんなで楽しくご飯を食べる場所を作りたいと思うようになり、仲間が集まって設立しました。

—動き出した2020年初め

活動を始めようと準備を始めたの



木のおもちゃ広場 みんなで一緒に遊びます

が2020年2月頃でした。中国で新型コロナウイルスが騒がれていたのですが、日本は大丈夫でしょと思っていました。そうこうしていたら、学校休業、緊急事態宣言と、どんどん大変な状況になっていきました。「よし、やろう」という気持ちだったのに、完全に出鼻をくじかれた形となっていました。やりたい気持ちが強かったので、何とか第1回目を開催しようと会場を予約。感染流行で直前に中止判断、キャンセル。その繰り返しでした。第1回目ができたのが2021年6月でした。

ただ、それまでの1年間でいろんな準備ができたと思っています。会



ちまき作りも体験

員だけで調理実習を重ねて、レシピの考案や効率的な作業の確認もできました。衛生面についても消毒方法等の知識を深めることができました。遊びの場、体験の場のアイデアもこの間に生まれました。何より良かったのは会員間のコミュニケーションが深まったことです。お互いのことが知ることができて、結束が強くなりました。

—培ったものを出し合う

今はだいたい月に1回、順調に開催しています。順調なんですけど、大変なこともあります。それはメニュー決めです。その時参加できる会員、その材料でメニューが変わります。いつも決まるのが直前になります。その都度、会員それぞれが強みやアイデアを出し合って乗り越えてます。いろんな世代の会員が、

これまで培ってきたものを活かしながら問題を解決し前に進んでいます。

—これから

月1回開催が限度ですが、「継続」を大事にしていきたいと思っています。子どもたちに三朝町っていいなあと感じてもらえる、あったかい場所になればと思います。ここで出来たつながりが将来どんな道に進んでも心の糧になってくれたらいいと思っています。

みんな家がきっかけとなって、ごとも食堂や地域食堂が三朝町内に広がったらいなと思います。

「みんな家」という名前には、「みんなに来てほしい」、「みんなでご飯を食べて、みんなでつながろう」、「みんなの居場所だよ」という想いを込めています。



ごはん大盛りで!!